

大学院 FD 活動報告

1. はじめに

大学院 FD 委員会では、教員の研究力および教育力の向上を目的とし、2023 年度では下記 2 点について取り組んだ。

- 1) 外部講師による講演会の開催
- 2) 大学院生へのアンケート調査の実施

尚、例年実施している大学院担当教員による研修会は、今年度は着任された時期が年度途中で研修会の日程調整が困難であったことから次年度に延期とした。

以下に、実施状況の概要を報告する。

2. 実施状況報告

- 1) 外部講師による講演会の開催

日 時：2024 年 2 月 10 日（土）14：00～15：30

会 場：本学 4 号館 421・422 講義室

講 師：辨野 義己 先生

十文字学園女子大学 客員教授

辨野腸内フローラ研究所 理事長

国立研究開発法人 理化学研究所 名誉研究員

演 題：「カラダを強くする最高の腸活」

参加者数：本学大学院担当教員および学部教員、本学職員、
大学院生（修士課程・博士後期課程） 31 名

(当日の様子)



腸内細菌に関して長年研究を続けられてきた成果をわかりやすい解説を交え、関連の話題とともにご講演いただいた。一般的には女性は便秘、男性は下痢が生じやすいこと、大腸は様々な病気の発生源となること、腸内細菌と生活習慣の関わり、食習慣をはじめとする生活習慣による腸内環境の変化、腸年齢としては老化していくこと、最後にカラダを強くする腸活についてなど多岐にわたる内容であった。その後の質疑応答の時間には、活発に多くの質問があり、講師の経験談や研究の裏話も交えながら、とても詳しく丁寧にお答えいただいた。

2) 大学院生へのアンケート調査と情報交換会の実施

大学院生の声を聴くアンケート調査を下記のとおり実施した。今年度は留学生が回答しやすいように英語の表記も加えた。尚、昨年度と同様、例年実施していた教員と大学院生との情報交換会は、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、やむを得ず中止した。

○2023 年度大学院生の声を聴くアンケート調査と結果の概要

<実施期間と実施方法>

2024 年 2 月 16 日（金）～2 月 29 日（木）

今年度も匿名化を徹底するために、Forms を利用した Web アンケートで実施した。

<設問と集計結果は下記の通り>

○回収率

14 名中 5 名（修士課程 4 名、博士後期課程 1 名）、36%

全学生に共通する質問

- 1 カリキュラムや研究指導で大学院生への配慮は十分ですか。 / Do you think our considerations for graduate students in the curriculum and research guidance is sufficient?
⇒ 「はい/Yes」 5 名, 「どちらでもない/Neither」 1 名, 「いいえ /No」 0 名
- 2 1. について希望や意見があればお書きください。 / Please write down any wishes or opinions you have regarding 1.
⇒希望や意見はなし
- 3 研究指導体制について要望はありますか。 /Do you have any requests regarding the research guidance system?
⇒ 「いいえ /No」 6 名, 「ある /Yes」 0 名
- 4 3. について希望や意見があればお書きください /Please write down any wishes or opinions you have regarding 3.
⇒記述なし
- 5 大学で利用可能な文献データベースや図書についての要望はありますか。 /Do you have any requests for bibliographic databases or books available at our university?
⇒ 「いいえ /No」 6 名, 「ある /Yes」 0 名
- 6 5. について要望がある方は具体的にお書きください。その他ご意見もお書きください。 / If you have any requests regarding 5. please be specific. Please write any other comments you may have.
⇒記述なし

- 7 大学院講義室, 院生室, その他大学院関連施設・研究設備についての要望はありますか. /Do you have any requests for graduate lecture rooms, graduate student rooms, or other graduate-related facilities or research equipment?
⇒「いいえ / No」6名, 「ある / Yes」0名
- 8 7. でご意見や要望があればお書きください/Please write down any opinions or requests in 7.
⇒記述なし
- 9 大学院生生活の経済的基盤について大学の配慮は十分ですか. /Do you think the consideration of our university for the financial basis of the graduate student's life is sufficient?
⇒「はい/ Yes」5名, 「どちらでもない/ Neither」1名, 「いいえ / No」0名
- 10 9. で意見や要望などがあればお書きください/Please write down any comments or requests in 9.
⇒記述なし
- 11 授業時間割や中間報告等の年間スケジュールについて、要望はありますか/Do you have any requests regarding the annual schedule of classes, midterms, etc.?
⇒「いいえ / No」6名, 「ある / Yes」0名
- 12 11 について意見や要望があればお書きください/Please write down any comments or requests in 11.
⇒記述なし
- 13 大学院修了後の進路, 就職について, 大学のサポートは十分ですか. /Does our university provide sufficient support for post-graduate study and employment?
⇒「はい/ Yes」4名, 「どちらでもない/ Neither」2名, 「いいえ / No」0名
- 14 13 に関して要望や意見があればお書きください/Please write down any comments or requests in 13.
⇒該当なし 6名
- 15 以上の質問以外でご意見や要望があればお書きください/Please write down any comments or requests other than the above questions
⇒記述なし 6名

<修士課程の学生のみ>

16 本学の大学院博士後期課程に進学したいと思いますか。 /Do you wish to enter the doctoral program of our university?

⇒ 「はい/ Yes」 1 名, 「どちらでもない.検討中/ Neither or Under consideration」 4 名,
「いいえ / No」 0 名

<対応、ならびに今後に向けての課題>

アンケート終了後、大学院生全員にフィードバックをメールで一斉配信した。今年度は特に要望や意見は寄せられなかった。

実施方法を昨年度より Forms に変更し、さらに今年度は英語表記も加えたが、回答率が昨年より低下した。大学院は留学生、および社会人が占める割合が高いため、今後、指導教員と協力して直接聞き取りの機会を設けることが必要である。

以上